

名事研=ユース

第2期名古屋GD策定される スクラムを組んで学校事務の改革へ

ともにつくろう！ 新しい時代の学校

会長 加藤 豊子
(南養護学校)

『教育は未来を照らす太陽』このことばに何度、勇気付けられたことでしょうか。『一人一人の心の中に、どれだけ革命的な変革が生まれ、根源的な力を発揮させることができるのか』これは、子ども達への教育だけに限らず、私たち学校に働く者たちに問いかけられていようような気がします。

今年度、名事研では、新たな年間テーマ「ともにつくろう！新しい時代の学校くなくやっ子の輝く未来のためにく」を設定しました。このテーマには、家庭・学校・地域を含め学校に関わる者たちが、「主体的・協働的(ともに)」に「新しい時代の学校」づくりに関わっていかうとの思いが込められています。また、新しい学校づくりは、常に子どもたちの未来のためであることを意識するため、サブテーマを「なくやっ子の輝く未来のために」としました。

そして、今年度は「第二期名古屋の学校事務のグランドデザイン」を策定しました。一人一人がめざす像に向けて自身の目標を掲げ実践していくことで、学校事務職員の専門性をさらに高めていけたらと思います。

平成二十九年度からの権限移譲は目の前です。私たち学校事務職員の役割と職務を、自らの意志と努力で創っていくことができるのです。そのため名事研組織であり、組織としての協働も目指していきたいと思えます。

一人一人の心の中に必ずある「変えていこう！」という思いをつなげて、新たな学校事務に挑戦していきましょう。



平成二十八年度名事研活動について

副会長 内藤 洋子
(荒子小学校)

今年度、名事研は新しいテーマ「ともにつくろう！新しい時代の学校くなくやっ子の輝く未来のためにく」を設定し活動していきます。政令市権限移譲を来年度に控え私たちは「学校事務職」という一般事務の職務とは異なる学校事務職員の職務の専門性が問われています。このように取り巻く環境や制度が変化する中、昨年度までの五年間の第一期名古屋の学校事務のグランドデザインを経て、今年度新たな第二期名古屋の学校事務のグランドデザインがスタートしました。第一期の理念を継承し、めざす像の実現に向けて一人一人が職名や経験年数、各校の実態に応じた取り組みについて考え、学校経営に参画していかう、新たな学校をつくっていかうという思いをこめて策定されました。この計画のもとに三年間進めていきます。めざす像がイメージできるよう、三つの戦略「学校事務機能の強化」「マネジメント力の向上」「学校事務制度の提言」を設定し、研究を進めていきます。

また、変化する現状に対応した課題整理や事業精選を早急にしていく必要があります。事務局、専門部、世話係、会員の連携を強化し充実した活動をしていけるよう一人一人が力を出し合い、大きな力にしていきましょう。

夢に向かいともに歩むなくやっ子のために。

定期総会・講演会

四月二十日(水)に名古屋市教育センターで平成二十八年度定期総会が行われ、平成二十七年事業報告、決算報告、平成二十八年度事業計画、第二期名古屋の学校事務のグランドデザイン(以下「第二期名古屋GD」)、予算案について承認がされました。会則改正案については審議の結果、決議保留となりました。

第二期名古屋GDについては、第一期名古屋GDの理念は継承し、課題であった「めざす学校事務職員像」の共通認識を図るために三つの視点を設定し、学校経営に参画することを表しました。また、めざす学校事務像の実現に向け、新たな戦略を設定しました。この戦略はそれぞれリンクして考え、取り組むものとし、実行策については個人と名事研組織がそれぞれ設定し取り組むこととしました。これにより、個人においては、経験年数や各校の実態を考慮した実行策が設定でき、名事研組織においては、第二期名古屋GDを事業の中心に捉え、事務局や専門部等がより一層連携して推進します。

定期総会の始めには新規採用者の挨拶が行われ、今年度は十三名の仲間が新たに加わってくれました。壇上に立つ新規採用の方々からは期待とやる気が満ち溢れており、来年度の権限移譲という大きな節目にも積極的に対応してくれるでしょう。

また、定期総会に先立ち、名古屋市教育委員会 教職員課長 相川保敏氏を講師に招き、「学校事務職員に期待すること」をテーマとした講演を行いました。複雑化、多様化している学校の課題を解決するためには組織の強化が必要不可欠であり、それは1+1=2でなく、1+1=2+αという組織づくりが大切



第2期名古屋の学校事務のグランドデザイン全体図(一部簡略化)

であること、そのために学校事務職員にも経験年数や各校の状況に合わせながら、積極的に学校運営へ参画してほしいということでした。他に、学校間連携については、今年度の取り組みのテーマにある「各種事務を安定的に遂行するための校内体制づくり」においてしっかりと検討していただき、安定した学校運営に繋げていってほしいとのことでした。



講演会講師の相川保敏氏



壇上で挨拶する13名の新規採用者

専門部紹介

よろしくお願ひします！

事務局

事務局長 早川 数幸

権限移譲後の学校事務職員のあり方について、市教委からも説明がありました。このような時だからこそ、名古屋の事務職員が一体となって問題に取り組むことが必要です。名事研はそのための媒体のひとつであると思っています。専門部では、連携して名古屋GDを推進するとともに、「学校事務の専門性」をキーワードに活動することを確認しました。名事研組織がうまくまわるような手立てとともに、名事研が抱える課題を検証し、組織としてどうあるべきか、これまでの固定観念にとらわれず考えていきます。会員の皆様のご協力もお願いいたします。

研修部

研修部長 土井 裕子

「『どうなるだろうか』と他人に問いかけるのではなく、我々自身の手によって運命を開拓する他に道はない。」(芦田均、第四十七代内閣総理大臣)
権限移譲を機に、多くの方が「学校事務職とは？」を考えたのではないのでしょうか。その探求は、これから本番です。私たちの手で、「新たな学校事務職」を創っていく時です。私たち自身も、変わる必要があります。研修部として、研修をとおして、そのお手伝いをしていきたいと思っています。

研究部

研究部長 加島 道代

名古屋には名古屋の学校事務をつくっていく必要があると思います。一人一人の実践の積み重ねから見える名古屋の学校事務。そこには、学校事務職員同士や他の教職員との協働があるでしょう。チーム力を生かした学校事務を見える形にしていきたいと考えています。学校事務職員が学校にいてこそ、その力が発揮できることを会員の皆様とともに明らかにしていきたいでしょう。

情報部

情報部長 則武 真雄

今年度も名事研ニュースや広報誌「じむけん!」の発行を行い、情報発信に努めていきたいと思っています。併せて、名事研HPについても随時更新をしていくよう努めます。また、第二期名古屋GDにかかる「個人の目標」についての集約・目標の共有を図る調査を考えていますので、ご協力の程、よろしくお願ひします。

編集後記

第二期名古屋GDがスタートしました。今年度においても、会員の皆様と共にめざす学校事務像に近づけるため、個人の実践と、名事研組織の取り組みの歯車がうまくかみ合うような事業の推進をしたいと思います。